

# 会 議 報 告 書

会議名	令和6年度 第3回三島市社会教育委員会議	
日 時	令和6年10月18日（金）午後1時30分から3時30分まで	
場 所	三島市民生涯学習センター 3階 講義室	
出席者	社会教育 委員	永倉委員長、小簾副委員長、足立委員、高橋委員、初山委員、大澤委員、石井委員、飯塚委員、山本委員、井口委員、野田委員
	事務局	鈴木教育推進部長、沼上生涯学習課長、渡邊図書館長、及川文化財課長、加藤文化のまちづくり課長、鈴木教育推進部主任、星谷生涯学習係長、稲木女性青少年係長、堤主事、前田事務員
傍聴人	なし(公開会議、傍聴人定員2名)	
項 目	趣 旨	
1 開 会		
2 挨拶	<p>●教育委員会 教育推進部長より挨拶</p> <p>●社会教育委員 委員長より挨拶</p> <p>●三島市教育委員の就任について 教育推進部長より説明</p>	
3 議 事 (報告・協議)	<p>(1) 令和6年度 第2・四半期の経過報告及び第3・四半期の予定報告 各課長より資料に沿って説明</p> <p>(質問)</p> <p>委員 山中城跡の裏にバイパスが開通して以降、トラック等の大型車による騒音が酷い。今更どうすることもできないが現状を報告する。</p> <p>文化財課長 既に開通しているため、騒音を小さくするなどの対応は難しいが、山中城跡の景観を楽しんでいただきたい。また、過去に遡り、戦があったことに思いを馳せ、小田原北条氏の力作と呼ばれる障子堀も楽しんでいただけたら。</p> <p>委員 8月6日「夏休み北上子ども教室『こども歴史講座』」について、どのような内容なのか、また、対象者を教えて欲しい。</p> <p>文化財課長 北上公民館より依頼を受け、文化財課の学芸員が講師を務めた講座である。小学生親子が対象であり、15～16人の申し込みがあったが、参加者は10人と聞いている。当日は、箱根八里や山中城跡といった三島の歴史の話や土器の拓本を行った。参加者アンケートには「楽しかった」「拓本が初めてでよかった」との声が上がり、大変好評だった。来年度以降も内容を変え開催したいと考えている。</p>	

委員	9月14日「第1回大人の図書館探検ツアー」を毎年行っているが、参加した方は図書館ボランティア等に繋がっているのか。
図書館長	特に繋がっていると結果はないが、ボランティアは2年に1度、広報みしま等で募集しており、「第1回大人の図書館探検ツアー」については、図書館を更に周知することを目的とし、図書館利用者を対象に開催した。
委員	11月17日「図書館講座『宮西達也とえがしらみちこのペチャクチャおはなし会』」は大人のみが対象の講座か。
図書館長	対象年齢は設けておらず、子どもから大人まで参加可能である。また、絵本作家との交流をメインに考えた講座でもあり、大人も楽しめる内容となっている。 今年度4月以降、「絵本のまち三島事業」として様々な事業を展開する中で、絵本というどうしても子ども対象になってしまうところがある。大人はもとより、高齢者、障害をお持ちの方など、誰でも楽しめるよう事業展開していく。
委員	10月10日より「山中城跡ガバメントクラウドファンディング」が開始となるが、今年度の目標及び返礼品について伺いたい。
文化財課長	毎年100万円を目標として設定しており、今年度も同様である。昨年度は目標金額には届かなかったが、81件、62万8千円の寄付をいただき、山中城跡の維持管理費用として芝生の手入れや樹木の剪定等に活用した。 また、返礼品について、昨年度はのぼり旗や御城印、イベントへの参加といった山中城跡に関連した返礼品を用意したが、今年度は一般のクラウドファンディングと同様、うなぎやゼリー飲料等を選択する形式へと変更した。 90日間の期間限定で募集を行っており、既に何件か寄付をいただいと聞いているが、現状目標額に届いていないため、企業版クラウドファンディングも活用したい。
委員 文化財課長	同事業についてはチラシ等を作成し、商工会議所等にも配架しているのか。 現状、ホームページでしか募集していないが、作成次第、配架の予定である。
<p><b>(2) 令和6年度生涯学習功労者表彰被表彰者(案)について</b></p>	
<p>生涯学習係長より説明 賛成多数により承認</p>	
<p><b>●生涯学習功労者表彰の今後について</b></p>	
<p>生涯学習係長より説明</p>	
<p>当該表彰規定により、一度表彰を受けた者は候補者対象外となることなどから、ここ数年、候補者が減少傾向にある。そのような状況を鑑み、表彰自体を毎年か隔年に変更をしたいと考えている。空いた会場は、『生涯学習まつり』が活発になるよう検討する。ついては、隔年になることについて委員の皆さまの意見をいただきたい。</p>	
委員 生涯学習係長	今後、被表彰者の数は隔年で7者・団体程度になるということか。 一度に多くの被表彰者を出すことで、式典が賑やかになればと考えている。

委員 生涯学習係長	隔年にすること自体は反対でないが、今の説明の趣旨をもう一度伺いたい。 生涯学習功労者表彰を実施しない年は、他の企画・プログラムを取り入れるという意味合いで説明した。隔年の表彰に伴い1年の猶予ができるが、『生涯学習まつり』の発展に繋がる催し物を取り入れていきたい。
委員	隔年にすることで生涯学習功労者表彰を実施する年と実施しない年があるが、実施しない年については他のイベント等を行うという認識である。
委員	私も隔年にするという提案には反対しない。しかし、候補者不在という理由では仕方がないが、もう少し周りを見て、地域人材にスポットを当てても良いのではないか。
委員	規定があるのではないか。
委員	規定について説明してほしい。
生涯学習係長	規定内の表彰基準を説明
委員	毎年候補者をリストアップし、次を見据えて計画立てをしていると捉えて良いか。
生涯学習係長	各推薦母体も次の候補者を探している。生涯学習功労者表彰については、適切な対象者、懸命に活動している者を探し出すという点においても大きな役割を果たしていると考えている。
委員	ここ数年の傾向を見ると、公民館関係者が候補者の多くを占めているように感じる。ぜひ活動の輪を広げていただけたらと思う。
委員	候補者を社会教育委員より推薦するのはどうか。
委員	私も賛成である。
生涯学習係長	社会教育委員の推薦枠については、持ち帰り検討する。
委員	各委員からの意見を聞いていると、隔年にすることで裾野の広がりが広がりにくくなるという懸念があるため、隔年での実施に対し、躊躇しているように感じる。様々な意見がある中で、無理に隔年にして良いものなのかと思う。
委員	社会教育委員の推薦枠について、採用するのであれば基準を作成し、明確に示して欲しい。
委員	社会教育委員が推薦を行う場合、生涯学習を「教えている」方だけでなく、地域の見守り活動のように「支えている」方もいるため、広い視野で新しい枠組みを作っていただけたらと考える。
教育推進部主任	本市においては他部署でも表彰を執り行っている。例えば、先ほどの地域で率先して掃除を行っている方に関して言うと、「善行表彰」という制度があり、市長部局において自治会や町内会から推薦をいただいている。 生涯学習功労者表彰は、生涯学習について対象者を限定している。全庁的に表彰制度がまとまり、行うことができるようになれば対象者は増えてくるが、現時点では、各分野において対象者を限定し表彰している。
委員	以前、候補者を出そうとしたが、当該人物は既に表彰済みであり、候補者として推薦できなかったという残念な思いをしたことがある。過去の受賞者は対象外とのことだが、推薦母体が異なっても候補者として推薦することは難しいのか。
生涯学習係長	様々な活動場所で講師等を務めている方も多いので、同じ方が何度も表彰を受

<p>(続き)</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>けることがないよう規定を設けている。様々な意見を十分踏まえ、当課でも再検討し、次回以降の会議で報告させていただく。</p> <p>対象を広くしたいという気持ちは分かるが、反って基準が明確にならなくなってしまう恐れもある。この表彰はあくまで生涯学習に関するものであり、幅広く行うことで意味がなくなってしまうのではないか。社会教育関係に対象を絞った方が良いと思う。</p> <p>生涯学習功労者表彰は生涯学習に関わっていることが大前提ではあるが、現在の対象者は行政に関わっている方となっているため、行政への関わりの有無は関係なくしてはどうか。</p> <p>今の取決めを確認し、検討した結果を次回以降の会議で報告させていただく。</p>
	<p><b>(3) 委員報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月 30日 (火) 令和6年度第1回三島市青少年問題協議会 委員より説明</li> <li>・ 8月 23日 (金) 令和6年度東部地区社会教育委員等研修会 委員より説明</li> </ul>
<p>4 社会教育委員実践発表</p>	<p><b>(1) 永倉委員長より実践発表</b></p> <p><b>(2) 小籾副委員長より実践発表</b></p>
<p>5 その他</p>	
<p>6 閉会</p>	